



ぐんぐん

学校支援ボランティア通信
「ぐんぐん」 第1号

《発行》

平成29年4月28日
久慈市立大川目小学校
地域コーディネーター 野里美紀

この通信では、地域の皆さんにご支援いただいた活動の様子を毎月お伝えしていきます。



新年度の活動がスタート！



長年にわたりご協力いただいている「スクールガード」さんと「すきっぷ」さんの活動が、さっそく始まっています。おかげさまで、子どもたちも気持ちのいいスタートを切ることができました。

スクールガードさん

始業式とともに、登下校の見守りをスタートしていただきました。毎朝のあたたかい挨拶や声かけのおかげで、全校児童が安全に登校しています。



すきっぷさん

毎週月曜日の朝、全学年の教室で読み聞かせをしてくださっています。今月は17日、24日の2回の来校でした。来月も楽しみにしています！



鮭の稚魚放流会



今月20日に久慈川漁業協同組合の皆様のご協力のもと、全校児童で鮭の稚魚を放流しました。

漁協の嵯峨清悟さんは、「地元の小学生が関わるのはとても嬉しいこと。まず、『楽しい』と思ってくれることが大切。」とおっしゃっていました。



今年は、約2万匹の稚魚を放流。「大きくなって帰ってきてねー！」。

ふ化場見学

稚魚放流のあと、5年生は大川目第2ふ化場を見学。放流直前の約45万匹の稚魚に、えさやり体験を行いました。今後定期的に見学を行う予定です。



運動会にむけて、剣舞練習！

来月の運動会に向け、全校児童で踊る剣舞の練習が始まりました。今月21日には、30年以上にわたってご指導いただいている村田一治さんによる練習会を行いました。



「練習あるのみ！一緒にがんばりましょう！」と力強く語った村田さん。

太鼓の基本的な叩き方や、大きくきれいに響かせる叩き方、また踊りの一つ一つの動きの意味や体の使い方など、丁寧に教えていただきました。

剣舞のたすき作り

剣舞の太鼓に使用するたすきが不足したため、急遽、本校保護者の小野寺洋美さんに依頼。すぐに3本のたすきを作ってくださいました。おかげさまで、太鼓の練習も順調に進んでいます。

